

製品の特徴

ドイツ レイノス社は、1985年に薬剤師であり天然物質化学者でもあるヘルゲ・オルトウィン・シューマツハ氏により設立され、天然の原材料をベースに品質とエコロジー両立させ、毒性を極限まで抑えた製品づくりを成功させると共に、徹底した品質管理に取り組んでいます。中でも**天然粘土塗料レームファルベ**は、**粘土**を原材料とした水性塗料で、オガファーザーをはじめとした様々な下地に施工可能な仕上げ材です。

原材料である**粘土**は**脱炭素**の働きと**調湿効果**、**消臭効果**が期待され、室内環境を改善するチカラを持っています。さらに大きな効果として、一般的なビニールクロス等には無い**透湿性**を持っているため、**結露**の発生を抑え、**カビやダニ**の繁殖を防ぐことで、**アレルギーを起こしにくい**室内環境の実現に繋がります。また、専用の**天然顔料カラーピグメント**を混ぜ合わせることで様々なカラーバリエーションの仕上げが可能です。

製品仕様

● **製品名** #655 レームファルベ

● **全成分**

水、粘土、チョーク、セルロース、二酸化チタン、植物性乳化剤、ポリアスパラギン酸、でんぷんエステルポリマー、イソチアゾリノン、塩化銀

● **適用下地**

オガファーザー壁紙、石膏ボード、コンクリート、レンガ、珪藻土、一般クロス(素材による)

※ 必ずテスト施工をして確認してください。

※ オガファーザー壁紙以外の下地への施工の際は、専用シーラー「#620 ディープシーラー」が必要となります。

※ 下地は油分やホコリ、ヤニなど無い状態にする。

● **参考塗布面積** 約 6.6㎡/L(2回塗り)

● **容量** 2.5L、10L

● **製品名** #668 カラーピグメント

● **全成分**

水、シェラックソープ、天然樹脂ソープ、蜜蝋、カルナバワックス、メチルセルロース、ミネラル顔料、ベンゾイソチアゾリノン、ピリチオン亜鉛

● **容量** 0.1L、0.5L



副資材・工具

● 養生



塗装する箇所以外に塗料が付着しないように、事前に養生を行う。

- マスキングテープ（建築塗装用、弱粘着タイプ）
※ オガファーザー ウッドチップの上に貼る場合は、粘着力の弱いタイプを使用する。
- マスカー
- 養生シート、など

● 工具・その他

- 中毛ローラー、水性ローラー
レームファルベを塗装する際に使用する。
- ミニローラー
レームファルベを塗装する際に使用する。特に入隅や狭く入り込んだ箇所への塗装に最適。
- 刷毛（水性用）
レームファルベを塗装する際に使用する。特に入隅や狭く入り込んだ箇所への塗装に最適。
- バケツ型トレイ
レームファルベを小分けにして塗装するトレイ（バケツ）
- しごきネット
バケツにセットされ、ローラーについた塗料をしごき落とす際に使用する。
- バケツ用内ポリ容器
バケツにセットされ、作業後は廃棄可能な使い捨てタイプのポリ容器

ドイツレイノス社製 天然粘土塗料 レームファルベ 塗装仕様書 - ③

2024.6.17版

※オガファーザー壁紙に直接塗装する場合は、専用シーラー「#620ディープシーラー」は不要です。

1 攪拌



塗装する前には必ず攪拌機で約3分攪拌する。
攪拌機以外での攪拌は成分が分離したままとなり
塊が表面に残る場合があります。



着色の場合

指定の量の天然顔料カラーピグメントをレームファ
ルベのバケツに加え約3分攪拌する。



※ 凹凸部分などで隙間に塗料が入りにくい場合は、**水で10%希釈**する。(下塗りのみ)
上塗り工程の際はレームファルベを原液で塗装してください。

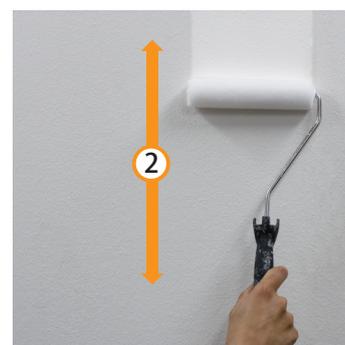
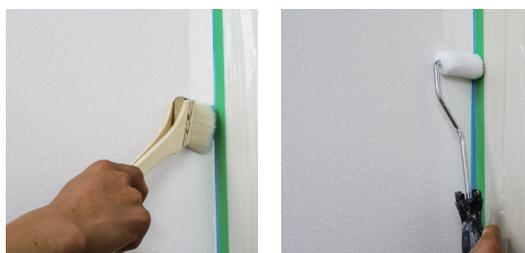
※ 濃い色で着色する場合は、色ムラを引き起こす場合があります。自然素材による
特徴ですので予め施主の同意を得た上で施工してください。

2 下塗り

レームファルベをバケツに適量移し、しごきネットで余分な塗料
を落としながらローラーで全体を塗装する。塗装する際は、全体に
塗料を配り終わったらローラーを横方向に塗り付け、最後に縦方向に
ローラーを転がし全体を均一に塗装していく。

Point

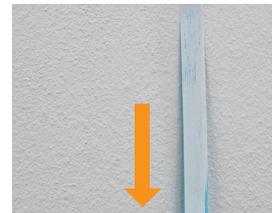
入隅やローラーが届かない箇所は、ミニローラーや刷毛を使用して塗布していく。(刷毛で塗装した場合は、必ずミニローラーを使用し馴染ませておく。)



3 マスキングの撤去・乾燥

1. マスキングの撤去

レームファルベが完全に乾燥する前に、養生のマスキングテープを取り外す。オガファーマーに貼り付けたマスキングテープは、逆方向に軽く引っ張る様にゆっくりと剥がす。



2. 乾燥

急激な乾燥は避け、自然乾燥(6~12時間)させる。

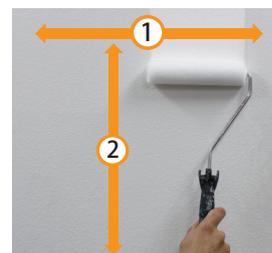
※ 気温・湿度により乾燥時間は変わります。

4 攪拌

塗装する前には必ず攪拌機で約3分攪拌する。
攪拌機以外での攪拌は成分が分離したままとり塊が表面に残る場合があります。

5 上塗り

レームファルベをバケットに適量移し、しごきネットで余分な塗料を落としながらローラーで全体を塗装する。塗装する際は、全体に塗料を配り終わったらローラーを横方向に塗り付け、最後に縦方向にローラーを転がし全体を均一に塗装していく。



6 マスキングの撤去

1. マスキングの撤去

レームファルベが完全に乾燥する前に、養生のマスキングテープを取り外す。オガファーマーに貼り付けたマスキングテープは、逆方向に軽く引っ張る様にゆっくりと剥がす。

7 乾燥

2. 乾燥

急激な乾燥は避け、完全乾燥まで自然乾燥(12時間以上)させる。

※ 気温・湿度により乾燥時間は変わります。